社会教育関係団体認定条件チェックシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| № | ☑ | 確認事項 | 生涯学習課 記入欄 |
| ☑ | 要綱 | 備考 |
| １ | □ | 設立して原則１年以上経過し、下記要件を満たしたうえで活動継続中である。【設立年月日】　昭和・平成・令和　　　年　　　月　　　日 | □ | ３－１ |  |
| ２ | □ | 会員が自主的、計画的に運営している。 | □ | ３‐１ |  |
| ３ | □ | 会員の親睦や交流のみが主たる目的としていない。 | □ | ３‐１ |  |
| ４ | □ | 規約や会則があり、団体の活動目的に地域の社会教育に寄与する事項がある。 | □ | ３‐２ |  |
| ５ | □ | 定期的に総会や役員会等を行っている。【総会】　　　月開催　　済　・　未　　□事業実績・計画　　　□収支決算・予算 | □ | ３‐３ |  |
| ６ | □ | 団体自ら経理し、会計監査を行っている。 | □ | ３‐４ |  |
| ７ | □ | 事務局を有している。 | □ | ３‐５ |  |
| ８ | □ | 活動拠点を市内におき、会員は１０名以上で、うち６５％以上は東松島市在住・在勤・在学者である。【会員数】　　市内　　　名、市外　　　名 | □ | ３‐６ |  |
| ９ | □ | 入退会は自由で、常に仲間（会員）を増やす活動をしている。 | □ | ３‐６ |  |
| １０ | □ | 営利事業や政治活動、宗教活動を目的とした団体ではない。また流派の普及を目的とした団体ではない。 | □ | ３‐８ |  |
| １１ | □ | 講師が主体（代表者）となり、月謝（会費）を徴収して活動している団体ではない。【外部講師（コーチ等）】　　有　・　無 | □ | ３‐８ |  |
| １２ | □ | 社会教育施設等の使用料減免を受けることを目的に設立した団体ではない。また減免を目的に社会教育関係団体の申請を行っていない。 | □ |  |  |
| １３ | □ | 団体として、自主的かつ継続的に社会教育に関する事業や活動を行っている。【様式第１号の適用団体区分の具体的な内容を記載】 | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １４ | □ | 団体として、地域全体に対して、普及啓発活動や人材育成を行ったり、活動の成果を還元したりしている。※事業の主催など【上記№１３の具体的な内容を記載（誰にどのようなかたちで）】 | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １５ | □ | 団体として、市や地域が主催する行事に積極的に参加（出展、出演、出場）するなど、地域貢献を行っている。【行事名】 | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １６ | □ | 会員が生涯楽集リーダースバンクやコミュニティスクール、地域学校協働活動など、自らの団体において、その知識技能を活かすとともに、当該団体の活動分野において、普及啓発などの活動を行っている。【内容】　　　　　　　　　　　【登録者】 | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １７ | □ | 団体として、社会教育拠点施設などの清掃作業等にボランティアとして参加している。※コミュニティセンター、市民センター、体育館など | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １８ | □ | 団体として、市などが主催する社会教育や生涯学習に関する講演会や研修会等に参加している。※生涯学習推進大会など | □ | ３‐１３‐７ |  |
| １９ | □ | 会員が他団体等（分野を問わず）と積極的に交流し、団体の発展に努めている。【内容】 | □ | ３‐１３‐７ |  |
| ２０ | □ | 大会や祭典へ目標を持って参加している。【行事名】　　　　　　　　　　【表彰実績があれば記入】　　　　　　　　　　　　　　　（平成・令和　　　　年） | □ | ３‐１３‐７ |  |
| ２１ | □ | 【更新の場合】前回の申請時より、改善や発展している点について記入。 | □ |  |  |
| ２２ | □ | 自由記入欄 | □ |  |  |

※№１～１４の太枠内**□**は必須要件（☑が必要）

※以下、生涯学習課記入欄

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | 年　　月　　日 | 受付時間 | AM・PM時　　　分 | 申請団体 |  | 受付者所属・氏名 | 社会教育係・スポーツ振興係 |